

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会 受付番号	2017-1014	利用するもの	情報:全ゲノム配列情報(SNP アレイ情報を含む)、基本属性情報(身長、体重、年齢、血液型、性別、検査値(検体検査値、特定健診結果、生理機能検査値)、飲酒、喫煙、家族構成および健康状態(家族含む))		
主たる研究機関	新潟大学		分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	地域住民コホートおよび佐渡コホートを活用した生活習慣病関連遺伝子の探索		研究期間	共同研究締結日 ~平成32年3月31日	
実施責任者	成田 一衛	所属	新潟大学医学部		職位 教授
研究目的と意義	脳卒中や心筋梗塞はわが国において最も頻度の高い死因の一つである。様々な生活習慣病はこれらの疾患の原因であり、環境要因ならびに遺伝的要因に左右されると考えられる。この研究では、ToMMoが行っている地域住民コホートと、新潟大学が行っている佐渡コホートの比較を通じ、生活習慣病の病態解明や予防の推進を目標とする。				
研究計画概要	<p>【研究の方法】 佐渡プロジェクトでリクルートされた参加者のうち全ゲノム領域のゲノム情報を取得した検体(平成29年6月時点でジャポニカアレイ約1,700人の検体)について、加齢性疾患を中心とした属性情報についてのゲノム情報の統合解析を行う。 特に、以下の属性については、東北メディカル・メガバンク事業のコホート参加者においても同等の属性情報を取得していることから、佐渡プロジェクトで見出された関連因子についてのレプリケート研究を必要に応じて実施する。</p> <p>【血液検査】 コレステロール値、中性脂肪値、ヘモグロビンA1c値、尿酸値、赤血球数、血清カルシウム値</p> <p>【病歴や投薬歴】 心筋梗塞や脳卒中の罹患歴、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の有無や治療歴、身体所見や臨床像、血圧、肥満指数また、佐渡コホート調査の参加者と集団構造が異なることが考えられるため、集団構造を考慮した比較解析を行う。より精度の高い解析を行うことで、生活習慣病の病態解明や予防推進の一助となる。</p>				
期待される成果	新潟県では、農村部を中心に高齢化率が高い市町村が存在する。その中でも佐渡市の老年人口は40%以上と高く、佐渡市の人口構成は日本の約20年後の将来像に相当する。佐渡プロジェクトは、疾患の研究という臨床医学だけでなく、将来の日本が対峙しなければならない超高齢化社会の医療政策という社会医学に対しても、大きく寄与する。				
これまでの倫理 審査等の経過お よび主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・(中心研究機関)新潟大学医学部倫理委員会「佐渡プロジェクト(PROST)でのゲノムデータを利用した生活習慣病関連遺伝子の解明」申請中 ・東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会「地域住民コホートおよび佐渡コホートを活用した生活習慣病関連遺伝子の探索」申請中 				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	本研究課題については、匿名化された情報のみを用いる。				
その他特記事項	新潟大学奨学寄附金など				
* 公開日	平成30年5月31日				